

令和3年度 第2回 東海村スポーツ推進計画推進委員会会議録

1	開催日時	令和4年2月18日(金) 18時30分から20時00分まで
2	場所	東海村歴史と未来の交流館 活動室2
3	出席者 (敬称略)	<p>&lt;委員&gt; 塚原美光, 黒羽根史朗, 吉沼玲子, 藤田洋一, 田畑由紀子, 小泉親彦, 竹下浩一, 松坂晃, 杉山章子, 久保田泰世, 植田裕美</p> <p>&lt;事務局&gt; 庄司真澄(教育部長), 千葉道明(生涯学習課長), 物井聡(生涯学習課課長補佐), 川崎彰利(生涯学習課主任), 富永京生(生涯学習課主事) 佐藤大樹(東海村文化・スポーツ振興財団スポーツ振興係係長)</p>
4	欠席者 (敬称略)	鈴木範英, 石丸美代子, 小川満, 橋本礼子
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	協議・説明事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進計画の進捗状況について</li> <li>・スポーツのきっかけづくりと習慣化について</li> </ul>
8	配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【資料1】令和3年度東海村スポーツ推進計画進捗管理シート</li> <li>・【資料2】スポーツフェスタTOKAI2021[体力・スポーツ体験ブース参加者数]</li> <li>・【資料3】スポーツフェスタTOKAI2021[参加者アンケート結果]</li> </ul>
9	発言内容	<p>■議事進行：塚原委員長</p> <p>(1) スポーツ推進計画の進捗状況について</p> <p>○ 配付資料の説明…資料1</p> <p>委員) 東海病院近くに整備している神楽沢近隣公園は住宅地の中にあり, 歩いて行ける人も多いが, スポーツができるような設備はあるのか。</p> <p>事務局) 公園全体が芝生の広場となり, 3on3用のバスケットコートや滑り台等の遊具も設置される予定。</p>

	<p>委員) 久慈川河川敷ニュースポーツ広場の供用を開始する際には、トイレや駐車場、物置があるとよい。</p> <p>事務局) トイレについては、グラウンドと隣接する民家との契約で使用できるものが1ヶ所あるほか、ソフトボール場の下流側にも仮設のものがある。駐車場はニュースポーツ広場の隣接地に整備した。物置は、堤防内に設置すると河川増水時における撤去等の対応が課題となる。久慈川河川敷運動場は国土交通省からの占用許可を受け管理しており、利用に当たって制約も多いが、より良い運用方法を検討したい。</p> <p>委員) 阿漕ヶ浦公園では野球やサッカーの試合が重なると、既存の駐車場が満車になり路上駐車が発生する。野球場脇の遊休農地を臨時駐車場として整備し、利用者に周知してはどうか。</p> <p>事務局) 阿漕ヶ浦公園の管理は都市整備課が所管しているので、担当課に伝える。</p> <p>委員) スポーツフェスタは参加者にも好評で、スポーツのきっかけづくりになった。次はどう習慣化につなげていくかが課題だと感じている。スポーツフェスタを発展させながら取り組みを広げていければよい。</p> <p>委員) 北京オリンピックで金メダルを獲得した平野歩夢選手のドキュメンタリー番組で、幼少期からスケートボードに親しめる環境が身近な場所に整っていたと紹介されていた。東海村でも神楽沢近隣公園などにスケートボードパークのような施設を整備したり、スポーツフェスタ等のイベントでスケートボードを体験できる機会をつくれるとよい。様々な体験ができる環境は人材育成にもつながる。スケートボードをやる場所がないことで、子どもたちが道路や公共施設などで遊ぶことが多く、安全性や施設管理面での課題も生じる。</p> <p>委員長) オリンピックで様々なスポーツを見て、子供たちが憧れを抱くのは良いこと。自治体でスケートボードパークを整備している例もあり、村内でもスケートボードができる場所ができるとよい。</p> <p>委員) スポーツフェスタでは、親子で参加した人が多いことが</p>
--	--

データに表れており、親子参加型によるきっかけづくりの仕掛けとしては成功だと思う。

委員) 東海村は親子で文化やスポーツの行事に参加する傾向が強い。子どもはより多くの体験をさせると、そのうちの何かに夢中になるものを見つける可能性も高い。一方、家庭環境によってはそれが難しい子もいるため、村がイベントの開催や施設の整備によって体験の場、機会を支援していけるとよい。プロスポーツ選手等憧れの選手と交流する経験も貴重で、学校でも積極的に取り入れていきたい。コロナ禍以前は、中学生による小学生への陸上競技の指導も実施していた。コロナ禍や教員の働き方改革により、学校行事を削減する傾向にあるが、規模を縮小しながらでも必要なものは継続したいと考えている。

委員長) 各委員からの意見を今後の取組に反映させてほしい。

#### 【結果（基本目標1～3）】

進捗管理シートについて修正意見なし。

#### (2) スポーツのきっかけづくりと習慣化について

##### ○ 配付資料の説明…資料2, 資料3

委員) スポーツフェスタの大塚製薬特設ブースは、講座の内容が大人を対象としたものであったので、託児所があれば親子連れでも参加者しやすかった。また、座学のブースは当日のスケジュールを勘案すると、スポーツ体験開催日とは別日に設定すると参加率が上がるのではないかと感じた。スポーツフェスタでもノルディックウォーキングは参加者が多かった。手軽で継続しやすいことから、きっかけづくりとしてノルディックウォーキングは最適だと思う。

委員) スポーツが嫌いな人、苦手な人、ネガティブなイメージを持っている人に目を向けることが大切だと思う。山に囲まれた田んぼ道を整備するなど、安全に安心してウォーキングができる環境を整備するのも必要かと思う。

委員) スポーツフェスタで中学生の参加者が少なかったのは、

	<p>試験期間中であったことが影響していると思う。次年度は中学生でも楽しめる種目を用意して、更なる集客につなげたい。</p> <p>委員) イモゾーを活用したウォーキングアプリがあるとよい。</p> <p>委員) 古墳や遺跡など、村内の観光名所を巡るウォーキングコースをつくって周知すれば、ウォーキングを楽しむ人が増えるのではないかな。</p> <p>委員) ニュースポーツの体験教室をコミセン等で実施し、気軽にスポーツに親しめる機会をつくれるとよい。</p> <p>委員) スポーツフェスタで中学生向けのメニューをもっと取り入れてほしい。「30分で足が速くなる講座」や「30分で距離がのびる講座」は、小学校においても授業等で是非実施してほしい。また、日立市のパンポンのように、小学生が休み時間に夢中になれるニュースポーツがあるとよい。</p> <p>委員長) スポーツフェスタでは「30分で足が速くなる講座」や「30分で距離がのびる講座」は参加者数が多く、タイムや飛距離の計測と同時並行で実施したことで、講座の時間を十分に確保できなかった。次年度はタイムスケジュールを工夫することで、講座の受講者を増やすことができると思う。</p> <p>委員) 親子参加種目は多面的な効果が見込めることから今後も継続していくべき。ニュースポーツは遊びの要素も含まれており、きっかけづくりには向いていると思う。</p> <p>委員) 次年度以降はニュースポーツの普及を軸に、村民のスポーツの習慣化に力を入れたい。また、イモゾーリレーを水戸地区、茨城県、全国へと、着実に広めていきたい。</p> <p>委員長) 最終的には「一人で遊んでいたら自然とスポーツがすきになっていた」を目指していきたい。</p> <p>■その他</p> <p>事務局) 委員の任期が令和4年3月31日で満了となる。引き続き御協力をお願いしたい。</p>
10 今後の予定	来年度は、10月と2月頃に委員会を開催予定。